

No.	カテゴリ	説明	対処内容
1	画像マッチング	画像マッチングノードをコピーして別のシナリオに貼り付ける際、コピー元のシナリオをクローズしていると不測のエラーが発生する。	画像マッチングノードをコピーして別のシナリオに貼り付ける際、コピー元のシナリオをクローズしていてもエラーとならないよう修正しました。 輪郭マッチングノードやOCRマッチングノード、音ノードにも同様の問題がありましたので合わせて修正しています。 また、コピー元のシナリオをクローズしている状況でエミュレーションノードを別シナリオに貼り付けた場合、貼り付け後にプロパティ画面を開くと不測のエラーが発生する問題がありましたので合わせて修正しています。
2	付箋	Ver.6のWinActorで作成したシナリオにて、付箋の内容に文字列として「¥t」や「¥n」を記載している場合、当該シナリオをVer.7で読み込むとタブや改行に置き換わってしまう。	Ver.6のWinActorで作成したシナリオにて、付箋の内容に文字列として「¥t」や「¥n」を記載している場合、当該シナリオをVer.7で読み込んだ際にタブや改行に置き換わらないよう修正しました。 また、「¥」と組み合わせて記載された一部の文字についても同様の問題がありましたので、Ver.6のWinActorでシナリオを読み込んだ際と同じように付箋の内容が表示されるよう修正しました。
3	イベント監視	イベントトリガーに「ウィンドウ状態」を設定したイベント監視と、呼び出し処理に「シナリオ呼出」を設定したイベント監視を同時に登録すると、イベント監視によるシナリオ呼び出し後に「イベント監視が失敗しました」のエラーが発生する。	イベントトリガーに「ウィンドウ状態」を設定したイベント監視と、呼び出し処理に「シナリオ呼出」を設定したイベント監視を同時に登録した場合にも、イベント監視によるシナリオ呼び出し後にエラーが発生しないよう修正しました。
4	オンラインアップデート	WinActorのステータスバー右端のベル型のアイコンをクリックした際に「不測のエラーが発生しました」と表示されることがある。	WinActorのステータスバー右端のベル型のアイコンをクリックした際にエラーが発生しないよう修正しました。
5	WSS	WSSにてシナリオファイル呼び出しの呼び出し設定(call_vars)、及び、戻り設定(return_vars)の変数名に空文字を指定できてしまう。 空文字を指定すると、WinActorにてエラーなくロードできるが、フローチャート上でシナリオファイル呼び出しノードにエラーを示す赤枠が付く。	WSSにてシナリオファイル呼び出しの呼び出し設定(call_vars)、及び、戻り設定(return_vars)の変数名に空文字を指定した際に、警告メッセージを出すよう修正しました。
6	ライブラリ	「99_外部サービス連携¥02_HTTP関連¥HTTP(詳細)」で応答のクッキーを取得する際、クッキー名の末尾が1文字欠落してしまうことがある。	「99_外部サービス連携¥02_HTTP関連¥HTTP(詳細)」で応答のクッキーを取得する際、クッキー名が部分的に欠落しないよう修正しました。
7	ライブラリ	「99_外部サービス連携¥02_HTTP関連¥HTTP(詳細)」を応答のクッキーを取得する際、HttpOnly属性及びSecure属性が取得できていない。	「99_外部サービス連携¥02_HTTP関連¥HTTP(詳細)」を応答のクッキーを取得する際、HttpOnly属性及びSecure属性を取得できるよう修正しました。
8	ライブラリ	「99_外部サービス連携¥02_HTTP関連¥HTTP(詳細)」を応答のクッキーを取得する際、属性に分類されるクッキーが値に分類して取得されてしまうことがある。	「99_外部サービス連携¥02_HTTP関連¥HTTP(詳細)」を応答のクッキーを取得する際、クッキー名に応じて正しく属性と値に分類されるよう修正しました。
9	監視ルール	監視ルールを登録している際、繰り返しグループや例外処理の最後尾に配置したノードの実行後に監視対象ウィンドウが表示されてもルールの検知が行われない。	監視ルールを登録している際、ノードの配置場所に依らず監視対象ウィンドウが表示されたタイミングでルールの検知処理が行われるよう修正しました。
10	監視ルール	WinActor Ver.7.3.0以降にて監視ルールで対処種別に「サブルーチンを実行する」を選択していると、言語設定を日本語にしているにも関わらず、監視ルール検出時に実行ログに出力されるログが英語メッセージとなる。	監視ルールで対処種別に「サブルーチンを実行する」を選択している際、言語設定に応じて監視ルール検出時に正しくログ出力されるよう修正しました。
11	ライブラリ	EdgeブラウザのIEモードのタブを対象に「自動記録アクション¥クリック(IE)」を実行する際、操作対象ウィンドウのオープンとクローズを伴う操作を行うと不測のエラーが発生することがある。	EdgeブラウザのIEモードのタブを対象に「自動記録アクション¥クリック(IE)」を実行する際、操作対象ウィンドウのオープンとクローズを伴う操作を行ってもエラーとならないよう修正しました。
12	サブルーチン	サブルーチン内でエラーが発生した際、サブルーチン呼び出し元で例外処理グループを用いて処理継続するとローカル変数の値が復元されない。	サブルーチン内でエラーが発生した際、サブルーチン呼び出し元で例外処理グループを用いて処理継続する場合にローカル変数の値を復元するよう修正しました。
13	GUI	Ver.7.4.2以降、オプション画面の[編集]タブの「ターゲット選択時にWinActorの画面を消す」にチェックが付いていると、ウィンドウ識別名のターゲット選択を行った際にフローティング状態にしたプロパティ画面がWinActor本体画面の背面に隠れてしまう。	オプション画面の[編集]タブの「ターゲット選択時にWinActorの画面を消す」にチェックが付いてウィンドウ識別名のターゲット選択を行った際に、フローティング状態にしたプロパティ画面がWinActor本体画面の背面に隠れてしまわないよう修正しました。

WinActor Ver.7.4.4にて行いました改善の一覧

14	GUI	ライブラリパレットでツリー要素を展開したり折り畳んだりする際、選択中の要素の位置まで勝手にスクロールしてしまう。	ライブラリパレットでツリー要素を展開したり折り畳んだりする際、意図せずスクロールしてしまわないよう修正しました。 ノードパレットやサブシナリオパレット、お気に入りパレットにも同様の問題がありましたので合わせて修正しています。
15	ライブラリ	Ver.7.4.3以降で「20_メール関連¥03_WinActorメール管理¥メール受信」ライブラリを実行すると「メールの受信に失敗しました」のエラーが発生することがある。 Ver.7.4.2以前で同じシナリオを実行する際はエラー発生しない。	「20_メール関連¥03_WinActorメール管理¥メール受信」ライブラリを実行した際にVer.7.4.2以前と同様にエラー発生しなくなるよう修正しました。 「20_メール関連¥03_WinActorメール管理¥Gmailメール受信」ライブラリにも同様の問題がありましたので合わせて修正しています。